



閉鎖性海域における 豊かな自然・社会環境の創生を 考えるシンポジウム

閉鎖性海域における豊かな自然環境・社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成キックオフ・シンポジウム

2014年12月12日[金] 14:00~17:00

国際交流会館5階 大広間 (熊本市中央区花畑町)

[入場無料]

このたび熊本大学では、様々な分野の研究者が一同に会し、『閉鎖性海域における豊かな自然環境・社会環境創生のための先端科学研究・教育の拠点形成』研究を開始することになりました。そのキックオフ事業として、環境保全、海産資源活用、地域づくりなど多様な視点から研究交流、行政や市民の皆さんとの協働の可能性を考えるシンポジウムを、沿岸域環境科学教育研究センター講演会「沿岸域環境科学の最先端—基礎研究から保全・再生・防災まで—」と合同で開催いたします。皆様の身近な地域の環境、社会づくりにおいて、熊本大学との協働の可能性を探しに、ご来場頂ければ幸いです。

お名前・参加人数・ご連絡先を明記の上、
下記メールまたはFAXでお申し込みください。

お申込み先 メール: szk-center@jimu.kumamoto-u.ac.jp
FAX: 096-342-3010

お申込み期限 2014年12月5日(金) 17時まで
(当日参加可)

お問合せ 熊本大学教育研究推進部研究センター支援担当
TEL: 096-342-3143

プログラム

13:30 開場、受付開始
14:00 開会の挨拶 逸見 泰久
(熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター教授)

第1部 講演会

- 1 球磨川の河口域における自然再生に向けた取り組み状況について
堂菌 俊多 (国土交通省八代河川国道事務所所長)
- 2 熊本県の河川環境の特徴とその保全
皆川 朋子 (熊本大学大学院自然科学研究科准教授)
- 3 熊本県におけるハマグリが生息状況と資源の利活用
逸見 泰久 (熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター教授)
- 4 持続可能な地域づくりと体験型環境学習について
松崎 勝己 (NPO法人きらり水源村)

第2部 パネルディスカッション

豊かな自然・社会環境創生のための協働について
コーディネーター: 田中 尚人
(熊本大学政策創造研究教育センター准教授)

研究分野間の協働、行政や市民団体との協働について、
会場からの質問も交えて話し合います。